

交通安全

- ・令和4年の愛知県の交通事故死者数は、大阪府の141人に続いて137人で全国第2位です。
- ・西尾市の令和5年1月から11月までの交通事故死者数は4人です。
- ・西尾市の令和5年1月から11月までの人身交通事故発生件数は282件で、西尾地区が222件、一色町が22件、吉良町が32件、幡豆地区が6件となっています。

安全運転は、スピードを出さない、全ての人に思いやりを持ったスマート運転



一色地区の産業廃棄物処分場建設反対

建設計画は白紙撤回されていませんので、引き続き市民団体や漁業協同組合連合会などと連携して建設阻止に取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願いします。

消防団員募集

地域の安全と安心を守るための消防団員の確保が難しい状況にあります。皆様のご協力をお願いします。

(5年4月1日)	条例定数	実員数	欠員数
一色消防団	117人	109人	8人
吉良消防団	102人	63人	39人
幡豆消防団	77人	46人	31人
三団計	296人	218人	78人



みんなで予防！インフルエンザ

インフルエンザは、主に冬の時期になると流行するウイルスによる気道感染症の1つです。11月下旬から12月中旬頃より流行がはじまり、1～3月にピークを迎えます。ここ数年は、新型コロナウイルスの流行により感染症対策が徹底されたほか、生活様式に変化が起きたことでインフルエンザの感染減少につながっていましたが、「今シーズンは流行するのでは？」との見方があります。

- ・身体的距離の確保
- ・マスクの着用（咳エチケット）
- ・こまめな手洗い
- ・規則正しい生活習慣



新型コロナウイルス感染症対策

- 冬の感染拡大が懸念されていますので引き続き感染予防を心掛けましょう。
- ・場面に応じたマスクの着用
- ・手洗い、手指消毒
- ・適切な換気の実施
- ・密を避ける



西尾市議会議員

渡辺 信行

2024年 新年号 発行人 渡辺信行後援会

市政レポート

〒444-0701 西尾市東幡豆町中川原3番地
TEL 62-3217

今年も皆様にとりまして幸多き年になりますように



後援会を始めご支援をいただいている皆様に心から感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症による規制が緩和され、経済活動が活発になりましたが、ロシアのウクライナ侵攻後、エネルギー価格高騰や円安による物価高で市民生活への影響は多大であります。国は、成長による税収の増収分の一部を公正かつ適正に還元し、国民の負担を緩和するとして一時的な税源を含めた措置を検討しています。市民生活を守るため国、県はもとより市が真剣に取り組まなければなりません。私の願いは、「市民の皆様が安心して安全に暮らせる西尾市」であります。スローガンである「人を大切にし、人がつながるまちづくり」と共に、明るい社会づくりに努めてまいりますので、引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

後援会長あいさつ

新型コロナウイルス感染症の第9波は収束しましたが、インフルエンザの感染者が増えており心配されるところであります。人にとって最も大切なものは健康であります。病気や怪我をしますと健康の有り難さを痛感しますので、皆様にはご自愛され、笑顔で過ごしていただきたいと思います。また、世界に目を向けますと、様々な国や地域で紛争が起っています。ロシア軍によるウクライナ侵攻、イスラエルとハマスの紛争など、いつになったら終戦するのか分からない状態です。報道を見ていると、まちが破壊され、多くの犠牲者が出ており心が痛みます。世界の人々が、痛みの分かる人になれば争いはなくなります。皆様には、人の気持ちを考えた言動をしてくださることを願っています。良い一年にしてください。

渡辺信行後援会 会長 黒部直樹（黒部眼科院長）

一般質問

令和5年は、3月議会、9月議会、12月議会で行っています。概略については「広報にしお」に掲載されます。詳細については「渡辺信行ホームページ」又は「西尾市議会ホームページ」に掲載してあります。是非ご覧ください。

政治家の寄附の禁止と年賀状の禁止

- 12月の「広報にしお」に選挙管理委員会からの広報紙が入っていました。
- ・政治家が選挙区内の人に金品を贈ることの禁止（結婚祝、香典、供花、お中元、お歳暮、お祭りなどでの差入、入学・卒業祝、出産祝、誕生祝、餞別、ホワイトデー、募金など）
- ・あいさつを目的とする有料広告、年賀状等のあいさつ状（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことの禁止

★年賀状は通例として年始の挨拶に欠かせないものですが控えさせていただきます。

市長と語る市政懇談会

今年度の開催は5地区で、10月10日（火）、幡豆で開催された際に、市長から、「施政方針に掲げる事業」について説明がありました。事業の一部を紹介します。

ふるさと納税制度の新たな返礼品の開拓と既存返礼品の見直しや返礼品掲載サイトの改良などを行い「西尾ファン」を開拓する。

- ・寄付額の推移

令和4年度	21億3,500万円程
令和3年度	15億4,400万円程
令和2年度	5億9,700万円程
令和元年度	4億4,100万円程
- ・返礼品の種類 約500品目
- ・効果 返礼品は地元事業者の逸品であるため地域経済効果が生まれる、自主財源確保による充実した行政サービスの提供、市のPRや観光の呼び水



西尾マラソンの実施

- ・西尾市全地域（西尾地区、一色町、吉良町、幡豆地区）を通るコースに一新して開催
- ・コース 西尾市役所→西野町→平坂→寺津→一色→吉良→鳥羽→横須賀公園
- ・男女が一緒に公道を走るフルマラソンは県内で西尾市だけ。
- ・フルマラソンの他にも5kmと2kmの種目あり。
- ・第一回 令和4年3月6日 フルマラソン参加者3,492人
- ・第二回 令和6年1月21日 フルマラソンエントリー人数5,148人



災害対策は、市民の生命と財産を守るため重点施策である。地震対策は、津波避難タワーの設置などの整備は進めている。近年は豪雨による被害が発生しているので対策に努める。

- ・河川増水状況などを即時に把握するため、浸水常襲地域に危機管理型水位計や河川監視カメラを設置する。
- ・西尾市LINE公式アカウントで浸水情報をいち早く通報するため、浸水センサーを設置する。
- ・河道拡幅及び護岸かさ上げ事業の早期事業推進を県に要望する。
- ・西尾市総合防災訓練
令和5年11月5日に鶴城中学校等で行われました。災害はいつ発生するか分かりませんので、日頃から防災対策に取り組んでください。



- ・赤字経営の西尾市民病院の改革として「西尾市民病院経営強化プラン」に基づいた診療機能の向上と健全な病院経営の実現を目指す。
- ・市民病院の医師不足解消に向け、大学医局への医師派遣依頼、県への地域枠医師配置依頼、医師紹介会社を通じた転職希望者の採用検討などを継続する。
- ・先端医療機器の導入など設備整備に努めている。令和5年4月から高精度な放射線治療装置（トモセラピー）を導入し、乳がんや肺がんなどに対して先進的ながん治療に取り組んでいる。令和4年9月にはピコウェイレーザー装置を導入し、形成外科でレーザーセンターを開設して、ほくろやしみに対してレーザー治療を行っている。

名鉄西幡豆駅及び東幡豆駅の待合スペースの整備、こどもの国駅に公共トイレを整備

- ・駅の待合室を名鉄が取り壊したため西尾市が待合スペースを整備する。
- ・こどもの国駅のトイレが不衛生であり、名鉄に要望したが改修しないため、西尾市がロータリーに設置する。
- *名鉄西尾蒲郡線の経常損益が赤字であるため、名鉄は自主運行が困難ということで廃線が危惧されています。西尾市と蒲郡市で年間に2億5千万円の負担や名鉄電車を利用する行事の開催、駐車場の整備、乗車補助などを行い存続に努めています。令和7年度までの運行継続は決定しています。廃線になりますと、①学生や車に乗れない人が困ります。②駅周辺の活性化がなくなり町が衰退します。③地価が下落するなど様々な影響がでます。廃線を防ぐには、何よりも名鉄電車を利用することです。東幡豆区は、毎月第一日曜日に、片道乗車によるウォーキングを行っています。神社仏閣やこどもの国、海岸などのウォーキングです。多くの人に参加していただきたいと思います。詳しくは、ネットで「幡豆はず情報室」の「片道電車のちょこっとウォーキング」をご覧ください。過去の写真や今後の予定が掲載してあります。



待合スペース



全世代の市民が集う多様な学び・交流の場として生涯学習センター（仮称）の設計案を決定し基本設計に着手

- ・令和5年度に基本設計 ・令和6年度に実施設計
- ・令和7～8年度に整備工事 ・令和9年度に供用開始
- ・施設内には貸室のほかに、あゆみ学級にしてお、コンパス、多文化ルーム KIBOU、多世代交流広場などを整備
- ・屋外には中庭として公園を整備
- ・建設地は歴史公園南側の西尾公園テニスコートが移転した跡地など



分別の推進によるごみ出しマナーの向上や、外国籍住民への分別啓発の実施

- ・西尾市は、人口一人当たりの家庭ごみの搬出量が県内で一番多い。ごみの分別に協力するとともにごみの排出量を減らす協力をしていただきたい。分別の取組として雑がみ回収を推進している。毎月の回収を50トン、年間600トンを目指している。これにより燃やす量が減ってCO2の削減になるし、2千万円ほどの節約にもなる。



市役所窓口における申請書への記入や本人確認の手間を省略することができる「書かない窓口サービス」の導入

- ・スマート申請などデジタル化に力を入れている。
- ・マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニ（マルチコピー機設置店）で住民票の写し、印鑑証明書を取得することができる。市役所の開庁時間に関係なく、早朝・夜間・休日でも利用可能で、手数料は市役所窓口の半額の100円